

第31回調査 <2001年6月調査>

● 厳しさが一層つよまる

第31回景況調査（四～六月期）がまとまりました。小泉内閣成立後、政治に対しては高い支持が続いているようですが、経済に対する見方は前回以上に厳しいものになっています。全体として、個々の中小企業ではすでにやるべきことはひと通りやり、精一杯の努力を追及していながら、景気はますます悪化していることへのいらだちが感じられます。「聖域なき構造改革」についても、一方で景気回復につながる期待感と、現在以上に厳しい状況を強いられることへの不安感が、共存している状況が示されていました。（調査対象 273、回答 175、有効回答率 64・1%、回答企業平均従業員数 41・5人、回答企業平均資本金額 3,626万円）

● 見えない景気回復のきざし

特別項目で調査している今後の景気見通については、前回に続いて悪化しています。業界見通しもいぜんとして好転がほとんどなく、悪化が増加しています。景気回復のきざしもほとんど出ていないが86%であり、なかなか見えていないという状況です。

銀行の対応の変化については、変化なしが71%、悪化が17%で前回とほぼ同じ数字になっています。銀行については、建設・不動産で25%が悪化と回答しています。また、ケースが少ないのではっきりしたことはわかりませんが、OA関連でも7社中4社で悪化としているのが目立っていました。

● 売上・利益・受注D I の変化

前回の調査では、一～三月期に比べ四～六月期の予測は、売上と利益はD I がプラスになっていましたが、実績ではマイナスになりました。今後の予想についても、七～九月期、2001年度下期のいずれも売上、利益、受注で減少が増加を大きく上回っています。景気の見通しという点では、前回以上に厳しい見方が強まっています。こうした変化は、九七年から九八年にかけての景気悪化の時期と似ています。

企業の採算状況は、黒字が赤字を上回っていますが、その差は縮小傾向にあります。また、資金繰りについては、D I が前回は大きく上回り（マイナス2・2→マイナス10・3）、これも97～98年のころの数字に近づいています。

業種別のD I では、製造が二極化、建設・不動産のマイナス増に対し、流通・商業では特に売上のプラスが目立っていました。流通・商業では営業力強化・拡大、新規販路・新規分野の開拓が効果を生んだ企業が多かったようです。

●売上・利益増加要因

四～六月期に売上・利益を伸ばしている企業の要因は、前回と比べ大きくは変化していませんが、売上で営業力強化・拡大（46%→62%）、新商品・サービスの開拓（14%→31%）が増加し、新規販路・新分野の開拓（59%→49%）が減少、利益でも営業力強化・拡大が倍増（27%→50%）しているのが目立っていました。利益は、他に新規販路・新規分野の開拓（38%）、コストダウン・生産性アップ（33%）、経費削減の強化（29%）が上位を占めています。経営の効率化が、利益にとって重要になっているようです。

●景気対策への対応

調査では、景気対策への自由記述をお願いしています。今回、特徴的なのは第一に、回答者の4分の3の方が記入しており、記述が多かったことです。景気対策への問題意識が非常に高いことを示しています。

第二に、内容については、自社のレベルアップを図ることの必要性を強調しているものが多くなっています。多くを紹介することはできないのですが、例えば「トップダウンでベテラン、中堅、新人一体となってそれぞれの向上テーマのレベルアップをはかる（同行営業、同行開発の徹底実施で社内教育、IT利用営業の拡大）」（食品）、「自社でなければできない商品の企画と異業種との連携」（建築一般）など、具体的な対応を検討している、あるいは検討しようとしている企業が見られます。環境の厳しさに甘んじることなく、積極的に対応しようと頑張っています。

第三に、政策については、構造改革を支持する意見と、景気対策、中小企業対策を重視すべきという意見とが混在しています。

長引く不況の中で、中小企業は不況の時代でも対応できる力強い企業作りを目指しています。経営環境については、ますます厳しい状況が予想されますが、それに負けない企業作りとともに、経営環境改善のための対応が求められています。

■表1: 景況調査総括表(DI=増加-減少%)

	4月~6月結果		7月~9月予測		2001年下期 (7月~12月)予想	
	前期比	前年比	前期比	前年比	2001年 上期比	2000年 下期比
売上	▲5.7	▲11.4	▲13.2	▲16.0	▲6.3	▲21.7
利益	▲5.7	▲6.7	▲15.4	▲16.6	▲8.5	▲20.0
受注	▲8.5	▲5.9	▲12.6	▲16.0	▲8.0	▲20.0

■表2: 環境変化の予想と政策(特別項目) 単位:%()内は前回調査

[1] 今後の景況見通し		[3] 景気回復の兆しは	
最悪景況続く	40.0%(36.0)	一部に出ている	10.9%(16.9)
今年中不安定	55.4%(51.5)	かなり出ている	0.6%(0)
今年中には回復傾向	2.3%(8.8)	ほとんど出ていない	86.3%(78.7)

[2] 業界の見通し		[4] 銀行の対応の変化	
好転	2.3%(3.7)	好転	8.6%(10.3)
底入れ	20.6%(27.2)	悪化	16.6%(16.2)
悪化	73.1%(64.0)	変化なし	71.4%(69.9)

■表3: 採算状況・資金繰りの状況 今回調査(前回調査)

[A] 4~6月の採算状況		[B] 7~9月採算予測	
黒字	37.1%(42.6)	黒字	30.3%(40.4)
トントン	31.4%(26.5)	トントン	41.1%(35.3)
赤字	28.0%(27.9)	赤字	25.1%(20.6)

[C] 資金繰りの状況		[D] 下期資金繰り予測	
楽	14.3%(19.1)	楽	12.6%(10.3)
普通	60.6%(57.4)	普通	56.6%(59.6)
苦しい	24.6%(21.3)	苦しい	28.6%(25.7)

【売上、利益増の要因】

■表4: 売上・利益の増加要因

前回からの伸び上位5項目(売上増)	
①新商品・サービスの拡大	-3.8ポイント
②出店・規模拡大	-1.2
③高付加価値化	-1.1
④人員カット	-0.6
⑤従業員との話し合いの強化	-0.5

売上増の要因 上位5項目		
①営業力の強化・拡大	19.4%	(9)
②新規販路・新分野の開拓	15.4%	(7)
③新商品・サービスの拡大	9.7%	(7)
④社員能力のレベルアップ	5.7%	(4)
⑤社内体制再編成	5.1%	(3)

前回からの伸び上位5項目(利益増)	
①営業力の強化・拡大	+5.3ポイント
②新商品・サービスの拡大	+3.7
③経費削減の強化	+2.7
④出店・規模拡大	+1.2
⑤社員能力のレベルアップ	+1.0

利益増の要因 上位5項目		
①営業力の強化・拡大	14.9%	(4)
②新規販路・新分野の開拓	11.4%	(1)
③コストダウン・生産性のアップ	9.7%	(2)
④経費削減の強化	8.6%	(6)
⑤新商品・サービスの拡大	7.4%	(11)

()内の数字は前回の順位

【一これからの経営の力点一】

■表5: 今後の経営上の力点・対応策

これからの経営上の力点		
①営業力の拡大	36.0%	(1)
②新規販路・新分野の開拓	29.7%	(2)
③新製品・サービスの開発	2.1%	(4)
④重点と取引先を増やす	19.4%	(3)
⑤社員能力レベルアップ	18.9%	(6)

前回調査と比べウエイトアップ	
①経営理念・計画の見直し	+3.8ポイント
②新規設備・規模拡大	+3.7
③経費削減	+2.1
④人材の採用	+2.0
⑤資金確保、銀行取引の強化	+2.0

()内数字は前回順位

■表6: 規模別景況DI値(前年同期比)

(人数)	売上		利益		受注	
	4~6月結果	7~9月予測	4~6月結果	7~9月予測	4~6月結果	7~9月予測
1~9人	▲22.0	▲23.8	▲13.6	▲30.5	▲18.7	▲27.1
10~19人	▲7.5	▲20.0	▲15.0	▲20.0	▲17.5	▲25.0
20~49人	▲2.4	▲2.5	▲7.3	+2.4	▲2.4	+2.4
50~99人	▲11.6	▲15.4	▲7.7	▲11.5	▲19.2	▲3.8
100人~	0.0	▲11.1	0.0	▲11.1	▲33.4	▲22.2

■表7: 業種別景況DI値(前年同期比)

(業種)	売上		利益		受注	
	4~6月結果	7~9月予測	4~6月結果	7~9月予測	4~6月結果	7~9月予測
製造	▲10.0	▲15.0	▲11.6	▲21.6	▲18.4	▲21.6
建設・不動産	▲20.0	▲32.5	▲15.0	▲22.5	▲17.5	▲17.5
印刷関連	▲36.3	▲27.3	▲27.2	▲18.2	▲36.3	▲45.4
流通・商業	0.0	0.0	0.0	▲4.3	▲8.7	0.0
物流・運輸	▲5.6	▲22.2	▲11.1	▲16.6	▲5.6	▲11.1
OA関連	+42.8	+71.4	+71.4	+57.1	+42.8	+57.1
サービス	▲25.0	▲25.0	▲37.5	▲31.2	▲31.3	▲31.3

■表8: 地域別景況DI値(前年同期比)

(地域)	売上		利益		受注	
	4~6月結果	7~9月予測	4~6月結果	7~9月予測	4~6月結果	7~9月予測
大阪市内部	▲8.2	▲12.2	▲8.1	▲14.3	▲13.3	▲14.3
北大阪地域	▲53.8	▲30.8	▲38.4	▲15.4	▲53.8	▲30.8
東大阪地域	▲11.1	▲25.0	▲8.4	▲16.7	▲13.9	▲16.7
南大阪地域	0.0	▲4.5	▲9.1	▲22.8	▲9.1	▲9.1